

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.63

ADVENT
2016



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

つぶやき

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



生きている人間は、なぜつぶやくのか。

自分自身の罪のためにか。

私たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。

(哀歌3章39-40節)

朝起きた時、自分の言葉で祈る前に、まず『詩篇』を読み、祈り、賛美し、みことばを宣言するという、新しいデポーション生活を始めるようになったのは、2011年のことです。主に喜ばれる賛美を探求し始めたのもその頃でした。そのような中で、賛美の反対は何だろうかということをおぼろげに思いました。その答えを見出したのは、朝の詩篇通読が106篇に辿り着いた時です。

106篇は、まず主への感謝から始まり、6節で自分たちが先祖と同じように罪を犯したこと、7節からは先祖たちが犯した不義と悪の罪について告白されますが、主は御名のために彼らを救われます。そして、主が海を干上がらせて彼らを救い出し、追ってきた敵が水に覆われて滅ぼされた時のことを、12節ではこう語っています。

「そこで、彼らはみことばを信じ、主への賛美を歌った。」

しかし、彼らはすぐに、主のみわざを忘れ、ホレブで子牛を作って拝みました。しかも、彼らは、主が導き入れてくださった美しい地をさげすみました。24,25節では、12節と対照的なことが書かれています。

「神のみことばを信ぜず、自分たちの天幕でつぶやき、主の御声を聞かなかった。」

ここから、「つぶやき」こそ「賛美」の反対であることに気付かされました。「賛美」は、神のことばを「信じる」ところから出て来ますが、「つぶやき」は、神のことばを「信じない」ところから出て来ます。

私は普段何気なく語る自分の言葉を吟味してみました。すると、私の口から実に多くの「つぶやき」が出て来ていることに気付かされました。「死ぬほど疲れた(ドイツ語で、tot müde)」、「お腹がすいて死にそうだ」、「お金がない」、「あの人はダメだ」、etc…。それらのすべてが、信仰から出ていない言葉であることに気付かされ、悔い改めに導かれました。そもそも、「死ぬほど」などと軽々しく口に出すべきではないのです。それは、いのちを与えてくださった主に反することだからです。「お金がない」も全くの嘘です。主は、これまで今日の生活と伝道に必要なお金をいつも与えて来てくださったからです。また「あの人はダメだ」と決めつけて人を裁くのではなく、その人のために祈るべきなのです。

以来、私は自分の口から出る言葉に気を付けるようになりました。「つぶやき」が、「賛美」の反対であるだけでなく、主は、聖書を通して、私を守り、すべての必要を与え、癒し、祝福すると約束してくださっているのに、それを「信じない」ことから出るものだからです。

2008年、主から「篤子の口を、わたしを賛美することだけに聖別せよ」という語りかけを受けた時、私はセキラー音楽から離れて、神を賛美する曲だけを歌うようになりました。しかし、それは、歌うことだけでなく、語る言葉のすべて、ひいては生き方そのものであることを認識するようになりました。今も毎日が信仰のチャレンジです。しかし、日々、告白する罪を赦し、洗いきよめ、内側をつくり変え、またすべての悪と危険から守り救ってくださる主のみわざを体験するとき、心の底から感謝と賛美が湧き上がってくるのです。そうやって、今日も、明日も、主を賛美させていただきたいと、心から願っています。



ブラジル・レポート



9月5日～10月4日、一か月に亘ったブラジル・ツアーを、主の守りと祝福のうちに終えることができました。

ブラジルは、日本の22倍もある広大な国です。今回のツアーでは、合計6,000キロを旅しながら、ブラジルの各地で、10回のコンサート、2回の礼拝メッセージと賛美、2回の賛美セミナーをさせていただきました。大変な過密スケジュールを、体調を崩すこともなく、聖霊の導きをいただきながら感謝な奉仕をさせていただけたのは、多くの方々のお祈りの支えがあったからです。紙面をお借りして、心からのお礼を申し上げます。以下、カンポ・グランジの山本ファミリーのことをお分かちさせていただきます。

山本ファミリー(カンポ・グランジ)

カンポ・グランジは、南マット・グロッソ州の州都。ここに、日本から、特に沖縄から多くの人々が移住しました。現在人口80万人、そのうち、一割が日系人です。

9月10日、11日にコンサートをさせていただいたカンポ・グランジ・ホーリネス教会は、500人ほどが集う大きな教会です。この教会から、これまで多くの献身者が各地に遣わされて行きました。

この教会の基礎を築いたいくつかの移民ファミリーがあります。そのひとつが、山本ファミリーです。7人兄弟の長男、山本彰さんは、ある日、神様から「カンポ・グランジに行け」という召しを受けました。1956年、山本さんは、他の兄弟と共に7人でカンポ・グランジに移り、皆で力を合わせて野菜を作って販売するようになりました。しかし、事業が失敗し、兄弟7人が一生働いても返せない額の借金を負ってしまいました。兄弟は、とにかく頑張ろうと励まし合いながら働きましたが、ある日、主に対して借金があることを神様から示されました。兄弟は、事業の負債を返すことが精一杯で、教会への十一献金を捧げていなかったのです。山本さんは、神への借金を返すことが先と示され、どんなに生活が苦しくとも、十一献金を捧げるようになりました。そうしたら、不思議なように事業

がうまく行くようになり、10年後には、借金が返せたばかりでなく、事業が拡大して行きました。

この山本ファミリーの信仰、生き方、家族の愛の絆を見て、カンポ・グランジの日系人がどんどん信仰を持つようになりました。今では数えきれないほどの大ファミリーになった山本家。その多くが、今、ブラジルの各地で神のしもべとして仕えておられます。



10月1日サンパウロ文協ホールコンサート、素晴らしい通訳をしてくださったラーナさんと

霊の戦い

ブラジルは65%がカトリック、25%がプロテスタントというキリスト教大国です。しかしながら、黒魔術的スピリチュアリズムが混合しているカトリック教会があり、プロテスタントの中にも異端的な教会があります。

9月25日のカンピーナスのコンサート会場では、前日に、カトリックと結びついたブラック・スピリチュアリズムの2つの団体が集会を開いたというので、コンサートを主催してくださった3つの教会は、主が小羊の血潮を注いで悪の力の影響からきよめてくださるよう、数日前から、会場の前で毎日祈禱集会を持ちました。前日に到着した私も、その祈り会に加わりました。

神の働きが前進するところには、敵も巧みに攻撃をしかけてきます。ブラジルだけでなく、どこの国においても、目を覚まして絶えず祈り、霊を見極める御霊を与えていただきながら、神をほめたたえ、キリストの勝利を宣言し、福音を宣べ伝えて行かなければならないと思っています。

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナントビル**

地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪府中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人
クリニック石田

診療科目 / 耳鼻咽喉科

〒558-0055
大阪市住吉区万代3-12-5
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車 / 徒歩10分
阪堺軌道鉄道土町線、帝塚山3丁目下車 / 徒歩5分
大阪府立急性期医療センター前 / 北に徒歩3分

TEL.06-6676-1700
院長:石田 稔
http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

産科・婦人科・小児科
医療法人社団グロリア会
月寒グロリアクリニック

院長 平島 功二

〒062-0053
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

ミックニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

株式会社
富川グロリアホーム

「終の住みか」を備えるために
労しています。

〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-3-4000

**atelier
phos**

DESIGN < WORK

http://atelier-phos.com/

宗教改革時代の賛美 5

「イエスはわが喜び」-2

(前号からの続き)



7月、ベルリンのニコライ教会を訪問しました。ニコライ教会は、1230年に、当時ベルリン＝ケルンと呼ばれていたベルリン発祥の地に建造された、ベルリン最古の教会です。教会訪問の目的は、ニュースレター 61号に記させていただいた、「血潮したたる」の作詞者、パウル・ゲルハルト(1607-1676)の資料を入手するためでした。ゲルハルトは、10年間この教会で牧師を務めました。今回の訪問で、偶然にも、「イエスはわが喜び」の作曲家、ヨハン・クリューガー(1598-1662)が、ゲルハルトと同じ時期にニコライ教会のカントールであったこと、また、ゲルハルトを讃美詩人として世に知らしめたのがクリューガーであったことを知ることができました。

ヨハン・クリューガーの父は、グローズプレーゼンの宿屋兼居酒屋の主人、母は牧師の娘でした。クリューガーは12歳でゲーベンのラテン語学校に入学しますが、そこには音楽と歌の科目があり、彼の音楽的才能は、ここで見いだされたようです。この町で、クリューガーは、彼より20歳年下のヨハン・フランク(1618-1677)に出会いました。フランクは、ゲーベンで生まれ、弁護士として働き、後に市長になりました。フランクは、当時、ゲルハルトに次ぐ詩人でした。「イエスはわが喜び」は、このフランクの詩によるものです。

フランクが生まれた1618年は、「三十年戦争」が始まった年です。この戦争によって、ドイツの経済は破綻し、ペストが蔓延して人口は半分に激減、2～3軒に一軒は空き家になりました。「イエスはわが喜び」は、悪魔とその手下どもの力を垣間見、ただ一人、私たちを救うことのできる主イエスの助けと慰めを見出した者の、勝利の宣言と、溢れんばかりの喜びの詩です。

クリューガーは、「三十年戦争」の間、母、5人のすべての子ども、そして最後には妻を失いました。愛するすべての家族を失ったクリューガーは、深刻な鬱状態に陥ったようです。その後、1637年に17歳のエリザベートと結婚、彼女との間には、14人の子どもが与えられました。1640年、クリューガーの手により、ルター派教会の最も重要な讃美歌集となった

『新しく完成された讃美歌』(Neues vollk6mliches Gesangbuch)が出版されました。歌集の冒頭には「慰めの歌」と記されていますが、その言葉通り、この歌集に収められた信仰の歌は、多くの人々に、信仰による希望と励まし、キリストにある慰めを与えました。そして、闇の力が覆う今の時代も、これらの讃美歌は、あの時と同じ希望と励まし、慰めと喜びを私たちに与えてくれるものです。

イエスはわが喜び

Johann Frank 1618-1677, Johann Crüger 1598-1662, 私訳

4. 去れ、すべての宝よ;
あなたは私の楽しみ、イエスはわが喜び。
去れ、虚しき栄誉よ、
私はお前たちの声など聞きたくない。
わが心よ、それらを認めてはならぬ。
貧しさも、苦難も、十字架も、辱めも、死も、
たとえ私が多くの苦しみの中に置かれても、
私をイエスから離すことなどできはしない。
5. 眠れ、おお、この世が選んだものよ、
私はお前を好まない。
眠れ、お前たち罪よ、はるか遠くに離れよ、
光の方に来てはならぬ。
眠れ、高慢と華麗と放蕩の生活よ、
お前に「眠り」を与えよう。
6. 退け、お前たち嘆きの霊よ、私の喜びの主、
イエスが入って来られるからだ。
神を愛する者たちにとっては、
お前たち悲しみさえも混じりけのない歓びとなる。
たとえ私がここでは
嘲りと辱めを忍ばなければならないとしても、
苦しみの中にあなたがいてくださる、
イエスこそ私の喜びなのだから。

※「イエスはわが喜び」の日本語訳讃美歌は、讃美歌第二編93番、教会福音讃美歌422番です。

**教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか。**

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjr@mifty.com

**賛美セミナーⅡ
DVD 2枚組**
15年11月7日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

**賛美セミナーⅠ
DVD 2枚組**
13年11月4日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

**賛美セミナーⅠ
CD 4枚組**
13年11月9日東京セミナー録音
定価4,000円(税込)

賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!

工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

主よ人の望みの喜びよ 定価1,500円(税込)	よき力に守られて 定価2,500円(税込)	ほんとうの願い 定価3,000円(税込)	神だけが 定価2,500円(税込)
カンシオン 定価2,500円(税込)	Come To Me 定価3,000円(税込)	讃美 Adorar 定価1,500円(税込)	讃美のこころ 定価1,600円(税込)

Schedule 工藤篤子 2016年12月スケジュール

12月

- 5日(月) 18:45～ **ブレイズ・ワーシップ**
連絡先(ミッション・宣教の声): 06-6226-1334
- 7日(水) 10:30～ **ライトハウス宇部キリスト教会**
「一足早いクリスマスコンサート」
連絡先(教会): 0836-39-5025
- 8日(木) 11:00～ **虹ヶ丘キリスト教会「婦人クリスマス」**
連絡先(教会): 0833-72-2052

18日(日) 14:00～

舞鶴福音教会(日本イエス・キリスト教団)
「クリスマス・チャリティーコンサート」
連絡先(教会): 0773-64-5568

25日(日) 19:00～

千代田福音教会
「クリスマス・キャンドルサービス」
連絡先(教会): 0721-52-6608

17年1月

9日(月)

帰独予定

15th AKWM CHARITY CONCERT チャリティー・コンサート報告



お祈りいただいております、第15回AKWMチャリティー・コンサートは、155名の方がご来場くださり、会場入りぎりぎりまで補助椅子を出すほどの盛況となりました。今年も、初めて来てくださった方も多くおられ、例年皆様がお祈りくださり、新しい方をお誘いくださり、初めて福音・賛美に触られる方もいらっしゃることを感謝します。コンサートでは熊本地震被災地の現状についての報告がなされました。今も続く余震と10月の阿蘇山噴火により、元の場所に家を再建して戻ろうと考える人がほとんどいないこと、かと言って新しい土地へ移る目処が立たないこと、10月に入ってボランティアが激減したことなどが報告されました。このコンサートの収益金、約19万円を、被災地におささげいたします。これまでの皆様のお祈りに心からの感謝を申し上げますとともに、これからも引き続き熊本地震被災地を覚えてお祈りくださいますよう、お願いいたします。

New! 主よ人の望みの喜びよ

今秋、「たましいの歌」とクリスマスCD「鳥の歌」が廃版になったのを機に、これまで最も人気のあった「たましいの歌」から12曲を選んで、リニューアルCD「主よ人の望みの喜びよ」をリリースしました。お値段も税込で1,500円と、大変お求めやすい価格になっています。伝道やプレゼントにも用いていただけですなら感謝です。送料は、日本国内は無料です。国外の場合は、実費送料となります。ご希望の方は、メールか、AKWMのホームページのオンラインストアからご購入ください。



主よ人の望みの喜びよ
定価 1,500円(税込)

(収録曲)

1. 主よ人の望みの喜びよ
2. あなたは私のやすらぎ
3. われを憐れみたまえ
4. わが願い主は生きておられ
5. すべて疲れた人は
6. ああ感謝せん
7. 鳥の歌
8. アメイジング・グレイス
9. 神だけが
10. われは思う
11. キリストにはかえられません
12. 主の祈り

Echo

ブラジル・コンサート

■歌声が、頭のとっぺんからつま先まで管が通ったようにカーンと響いた。コンサートが終わったら、心がとても軽くなっていた。神から与えられた声だから? (日系人、ノンクリスチャン)

■工藤さんの歌と証しは、クリスチャンにもノンクリスチャンにも、何の抵抗もなく心の奥深くまで響く。これは、神が工藤さんに与えられた特別な賜物だと思う。(日系人、クリスチャン)

■レストランに貼ってあったポスターを見てコンサートへ。自分は仏教徒だが、今日のような感動を覚えたことは、これまでの60数年の人生の中でなかったことだったと思う。(日系人、仏教徒)

■普通、コンサートでは、クリスチャンであっても、出演者が自分を前に出したがるものだが、今日のコンサートは、工藤さんではなく、神をプレゼンテーションするコンサートだったことに大きな感銘を受けた。このようなコンサートは、生まれて初めて聞いた。(ブラジル人、クリスチャン、メディア関係者)

ブラジル・賛美セミナー

■非常に聖書的な内容で、貴重な学びだった。大学のクリスチャン学生会の人たちにも伝えたい。(20代、クリスチャン学生)

■ビート音楽の危険性だけでなく、今度は、ニューエイジなどのゆったりとした陶酔型の音楽の危険性についての説明も加えてください。(50代、牧師)

■今まで、何かおかしいと思ってきたことが、今日よく理解できた。(70代、牧師)

■牧師として、主に喜ばれる賛美を求めてきました。多くの教会が、礼拝の賛美にこの世のロック的な音楽を取り入れている中、私たちの教会では、混ぜ物はせず、真に神に喜ばれる礼拝・賛美を求めてきました。篤子さんのように、真に主に喜ばれる賛美を求め、それを声を大にして語る賛美者がいることを知って、涙が出ました。応援しています。(50代、牧師)



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店 (店番003)
普通預金 0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

*三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました